

研究成果及び活動一覧 (1996.1.1~12.31)〔五十音順〕

- A：著書、論文、書評など
 B：学会での口頭発表その他の活動
 C：講演、論説など
 D：学術的調査

井上英明

- A：1 『『竹取物語』登場人物「性格論」——五人の貴公子を中心に——』、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.17~30、3.25
 2 「アーサー・ウェイリー」、秋山虔・渡辺保・松岡心平編『源氏物語ハンドブック』pp.18~19、(新書館) 10.25
 3 「世界の中の源氏物語」（講演筆録）、『佐倉市国際文化大学講義録』3.24、pp.79~83
- B：1 全国大学国語国文学会常任理事として学会運営（年間）
 2 日本文体論協会常任理事として学会運営（年間）
 3 日・豪・ニュージーランド理事として学会運営（年間）
 4 早稲田大学比較文学会理事として学会運営（年間）
 5 日本比較文学会研究紀要編集委員（年間）
 6 公益信託英米教育交流奨学基金運営委員長（年間）
- C：1 『源氏物語—賢木の巻—を読む』、東京都立大学都民カレッジ、1月・2月各日曜日全10回
 2 「世界の中の『源氏物語』」、佐倉市国際文化大学、5.25
 3 「世界のマイノリティー—マオリ族—」、早稲田大学政治経済学部、10.28、11.11
 4 「二度の楽園追放—南北文学の構想—」、早稲田大学文学部、11.16
- D：1 マオリ神話文献調査、国立民族博物館、7.28~31
 2 末松謙澄事蹟調査、福岡県立図書館、10.23~28

氏家洋子

- A：1 『言語文化学の視点—「言わない」社会と言葉の力—』206ps、おうふう刊、3.25
 2 「心的状況の表出と日本社会—心的な『である』から事態を動かす『する』へ—」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.146~156、3.25
 3 書評：「石塚正英、他編著『都市と思想家』I・II」（法政大学出版局刊）、『明治大学広報』410号、p.4、12.1
- B：1 全国大学国語国文学会春季大会（テーマ：表現と文学）研究発表会司会担当、6.9
 2 日米国際教育フォーラム（ラボ国際交流センター）第2部会「言語／非言語コミュニケーション」企画担当、12月~
- C：1 「学生に薦める一冊の本：谷川徹三『文化論』」、ラジオ短波・「明星大学の時間」、

2.25

- 2 「日本社会と『自分の』表現法 一人と言葉のこれからの在り方」、青森公立大学経営学部システム論講演会、7.16
- D : 1 ドイツの言語文化に関する資料収集、Stadtbüchereiにおいて、Stuttgart市、4.23~4.26
- 2 日独言語文化に関する研究交流、Freie Universität Berlinにおいて
 - ・Ostasiatisches InstitutのProf. Kirschner研究室にて外国語・日本語教育について
 - ・Fachbereich GermanistikにてProf. H-H Lieb(言語学)と、ドイツの第二次大戦前後の言語教育政策の変遷、及び、旧東・西ドイツ出身の大学生の言語使用の差異についてBerlin市、4.27~4.30

牛村 圭

- A : 1 「レーリング判事の東京裁判と日本」、『正論』12月号、pp.262~273、サンケイ新聞社

岡田恒雄

- A : 1 「ヴェーデキント『地霊』『パンドラの箱』の特異性—近代劇的特質と異化効果的要素」、『演劇の「近代」—近代劇の成立と展開』、中央大学人文科学研究所[編]、中央大学出版部、pp.151~169、3.30
- 2 「『春の目覚め』の仮面—ヴェーデキント劇の精神分析的側面」、AICT [国際演劇評論家協会] 日本センター編集委員会[編] 『シアター・アーツ (劇と批評)』第5号 (1996—II)、pp.74~81、晩成書房、5.25
 - 3 「J.M.R.レンツ『感傷的な魂のための哲学講義』について」、『ゲーテ年鑑』第38巻、日本ゲーテ協会[編]、pp.215~233、日本ゲーテ協会、10.1
- B : 1 「東西演劇におけるリアルな表現の比較」、第2回明星大学日本文化学部合同研究会、明星大学、11.8
- 2 「ハイナー・ミュラーはポストモダンか?」、中央大学人文科学研究所「近代劇の成立」1996年度第5回(通算第43回)研究会、中央大学駿河台記念館、12.25
- C : 1 「ミヒャエル・エンデの『モモ』について」、ラジオ短波・「明星大学の時間」、1.7

小河織衣

- A : 1 「ガブリエル・マルセルの思想(4) — 参与の具体的弁証法」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第4号、pp.190~180、3.25
- 2 「黎明期の宣教—仙台におけるパリ外国宣教会の活動—元寺小路教会をめぐって」、『仏蘭西学研究』第26号、pp.1~3、6.30
- 97 B : 1 シンポジウム「関西とフランス—神戸における宣教」のパネリストとして出席、日本仏学史学会第20回全国大会、大阪市立大学、6.28
(72)

- C : 1 講演「日仏交流のあけぼの——黎明期の宣教・江戸におけるパリミッションの活動」、日仏会館、8.27
 2 講演「かくれキリシタン——その歴史的背景と諸相」、明星大学青梅キャンパス第9回公開講演会、10.12
- D : 1 江戸・東京におけるパリ外国宣教会の事跡調査及び資料探査、8.15~27

加藤めぐみ

- A : 1 「「周辺」の声：オーストラリアの中国系女性作家」、『南半球評論』第11号、1月、pp.3~8
 2 書評：「家族とは何か：『ファミリー・ピクチャーズ』」、『南半球評論』第11号、1月、pp.64~66
 3 「“Crossing Cultures” Symposium: Literatures and Cultures of the Asia-Pacific Region に参加して」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.112~122、3.25
 4 “Australian Literary Images of Japan: A Japanese Perspective”, *Crossing Cultures: Essays on Literature and Culture of the Asia-Pacific*, ed. by Bruce Bennett, et. al., London: Skoob Books, 8月、pp.195~203
- B : 1 オーストラリア・ニュージーランド文学会運営、年間
 2 豪日ニュージーランド教師連盟研修会において「オーストラリア文学にみる日本のイメージ——異文化交流シンポジウムから」を報告、7.21
- D : 1 キャンベラ、Australian Defence Force Academy, Australian National Library にてオーストラリア文学資料調査。7.25~8.25

古田島洋介

- A : 1 「明治以後の＜赤い糸＞」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.79~87、3.25
 2 書評：島田謹二〔著〕『華麗島文学志——日本詩人の台湾体験』（明治書院）、日本比較文学会「比較文学」第38巻、pp.126~129、3.31
 3 随筆：「すでにして」考(続)、東大比較文学会「比較文学研究」第68号、pp.131~134、4.30
 4 「赤縄故事」、天津師範大学中文系〔編〕『環太平洋地区文化与文学交流学術研究会論文集』pp.219~232、天津古籍出版社〔中国・天津〕、6月
 5 「漢文教育的衰落与其新生的道路」、月刊「台湾教育」第550号＜第23届中日教師研討会専刊＞p.51、台湾教育編輯社〔台北〕、10.20
 6 翻訳：小堀桂一郎「亜洲的将来与教育的使命」、月刊「台湾教育」第550号＜第23届中日教師研討会専刊＞pp.6~7、台湾教育編輯社〔台北〕、10.20
 7 「森鷗外と記憶術」、東大比較文学会「比較文学研究」第69号、pp.134~143、12.30
- B : 1 翻訳・通訳：「亜洲的将来与教育的使命」、第23回中日教師研討会、小堀桂一郎氏

- の基調講演「アジアの将来と教育の使命」を翻訳（要約）・通訳、嘉義農業専科学
校 [台湾・嘉義市]、8.19
- 2 「漢文教育的衰落与其新生的道路」、第23回中日教師研討会（大專教育組）、嘉義
農業専科学校 [台湾・嘉義市]、8.20
 - 3 「東アジア国際比較文化会議」準備会議、発起人・日本支部理事（会長：中西進）、
帝塚山学院大学、10.5～6
 - 4 世宗大学国語国文学科 [主催]「韓日兩國の漢文受容の比較研究討論会」、世宗大
学・成均館大学・高麗大学 [大韓民国・ソウル]、10.13～17
 - 5 同時通訳・翻訳：日本漢字教育振興協会・国際漢字振興協議会 [共催]「第3回国
際漢字会議」、発表論文の翻訳／予備会議・論文発表・質疑応答・討論会の中国語
→日本語・日本語→中国語の同時通訳、京王プラザホテル、11.3～6
 - 6 シンポジウム「環太平洋圏における日本文化の成立とその展開＜アジアの近代化
と文化変容＞」、コメンテーター、国際日本文化研究センター、12.10
- C : 1 講演：「福沢諭吉と漢文訓読——『文明論之概略』を素材として」、福沢諭吉協会
[主催] 第70回土曜セミナー、交詢社 [銀座]、12.7
- D : 1 大中寺（沼津市、住職：下山光悦氏）、大正天皇侍講三島中洲の親筆等を調査、
1.23～24
- 2 大中寺（沼津市、住職：下山光悦氏）、大正天皇侍講三島中洲の親筆等を調査・整
理・解説し、「大中寺所蔵資料一覧——明治36年前後～大正年間：観梅関係資料概
要（初稿）」を作成、2.22～23
 - 3 中国・ハルピン市、『石光真清の手記』関係史跡調査（同行者＝国際日本文化研究
センター助教授：上垣外憲一氏、北京日本学研究中心所長：巖安生氏）、8.8～15
 - 4 六孫王神社（京都市南区、宮司：高落秀男氏）、「誕生水弁財天」等の史跡を調
査、10.7

小堀桂一郎

（新聞・雑誌コラムを除く）

- A : 1 （論文）「人種間戦争としての日米対決」日本及日本人社 1.1刊『日本及日本人』
新春号（1621号）、p.28～p.41
- 2 （論文）「再考・開戦の詔書の意義」、動向社 2.1刊『動向』二月号（1566号）、
p.6～p.16
 - 3 （講義筆録）「森鷗外の歴史小説—祖先祭祀と個人主義倫理の行方」明星大學父兄
會 3.8刊『青梅会報』8号、p.72～p.80
 - 4 （論文）「目的達成度から見た日米戦争」日本及日本人社 4.1刊『日本及日本人』
陽春号（1622号）、p.28～p.47
 - 5 （論文）「森鷗外『日本文學の新趨勢』について」、『明星大學研究紀要』（日本文
化学部・言語文化学科）3.25刊 第4号、p.1～p.15
 - 6 （論文）「歴史家が観た戦後五十年」藝林會 5.1刊『藝林』第四十五卷第2号、
p.69～p.83

-
- 7 (単行著書)『再検証 東京裁判』PHP 研究所 6.6刊、252ps
- 8 (論文)「ハリマン工作の〈もしも〉」明治図書 6.25刊『近現代史の授業改革』第四輯、p.118~p.121
- 9 (論文)「歴史教育への期待」西部邁事務所 10.1刊『発言者』十月号、p.30~p.35
- 10 (講演筆録)「新しいアジアの哲學は可能か」産経新聞社 11.1刊『正論』十一月号、p.94~p.106
- 11 (単行著書)『国際社会における日本の位置』、国民會館 11.18刊 国民會館叢書第十八輯、63ps
- 12 (書評)「田中卓著『教養日本史』」、國民新聞 12.25刊 第19020号
- B : 1 (講演)「善隣國寶の思想」、日華交流教育會年度總會、三月三十日
- 2 (講演)「森鷗外の史傳—評價の試み」全國大學國語國文學會總會 (於青梅校舎) 六月八日
- 3 (講演・但し代讀)「アジアの將來と教育の使命」第二十三回日華交流教育會國際研究會 (於嘉義市嘉義高專) 八月十九日
- 4 (講演)「美術史上の記念碑的繪畫の位置」 明治聖徳記念學會月例研究會 (於明治神宮) 十月十九日
- C : 1 (論説)「新聞記者國賊論」新潮社 1.1刊『新潮45』一月号、p.12~p.21
- 2 (論説)「本年、我等何を爲すべきか」日本を守る國民會議會 1.1刊『日本の息吹』一月号 (98号)
- 3 (論説)「『日本の弁明』について」水交社 1.1刊『水交』一月号、p.4~p.6
- 4 (講演筆録)「五十年目に見えてきたこと」念法眞教教團 3.1刊『鶯の聲』三月号、p.20~p.47
- 5 (論説)「意見廣告掲載拒否事件の教訓」産経新聞社 4.1刊『正論』四月号、p.31~p.37
- 6 (講演)「みたま祭と「家」の構造」關西佛教懇話會例會、五月十四日
- 7 (講演)「東京裁判五十年の回顧」日本教育會群馬縣支部理事・評議員會、六月十五日 (講演筆録は十月、同支部より刊行)
- 8 (講演)「近現代史の教育改革」東京レディスフォーラム總會、六月二十二日
- 9 (論説)「五十年を閱したみたま祭」靖國神社廣報課 7.1刊『靖國』七月号、p.4~p.5
- 10 (講演)「占領後遺症五十年の検証」航空自衛隊第八航空團築城基地幹部會、七月十二日
- 11 (評論)「五十年目のみたま祭に想ふ」産経新聞社 8.1刊『正論』八月号、p.70~p.81
- 12 (講演)「ジョージ・ケナン『アメリカ外交五十年』と大東亜戦争の検証」産経新聞・正論を聞く集い、九月二十一日
- 13 (論説)「總選挙の結果を見て」日本を守る國民會議會11.15.刊『日本の息吹』十一月号、卷頭言
- 14 (講演)「現代史の基本構造」海上自衛隊教育航空集團下總基地、第三術科學校、

十二月六日

佐佐木茂美

- A : 1 “E si verra les bones, (...) Que Artus aveit faites en Orient fichier”, *Studi di Storia della Civiltà letteraria francese, Mélanges offerts à Lionello Sozzi*, vol. 1, pp. 1~18, Paris, Champion, 1997.
- 2 書評:「ヨアヒム・ブムケ[著]、平尾ほか[訳]、『中世の騎士文化』」白水社、『比較文学年誌』、第32号、pp.170~173、早稲田大学比較文学研究室、3.25
- 3 「『トリスタン物語』と『ポンテユウ伯の娘』—ある学会報告から—」、『明星大学研究紀要』日本文化学部・言語文化学科、第4号、pp.13~21、3.25
- 4 「佐藤輝夫先生の学問—補遺—その縁にあって」、『流域』、第42号、pp.5~7、青山社、9.24
- 5 「ヨーロッパ中世の死生観—ある<彼岸>の消滅—」、『青梅会報』、第9号、pp.117~128、10.16
- 6 「アーサー王学会のこと」、『早稲田フランス文学会報』、第16号、p.1、早稲田フランス文学会、10.25
- 7 「科研総合研究報告」(平成8年度)、文部省
- B : 1 発表 “Intervention de l’Autre dans *La Mort le Roi Artu*”, le 18e Congrès International Arthurien de la Société Internationale Arthurienne, Université de Milan, Italie, Garda, (司会、Norris J. Lacy (名誉会長)) le 23 juillet 1997.
- 2 司会: la séance du 25 juillet, le 18e Congrès International Arthurien de la Société Internationale Arthurienne, Université de Milan, Italie, Garda.
- 3 「説話と神話の相互シフト」、日本フランス語フランス文学会秋季総会、シンポジウム<神話と文学>の基調報告およびパネラー(篠田知和基、吉田敦彦、阿部良雄、小松和彦、佐佐木茂美、渡辺守章)、名古屋大学、11.2
- 4 「吟遊詩人トリスタン」、明星大学・日本文化学部合同研究会、12.21
- C : 1 「ヨーロッパ中世の死生観—ある<彼岸>の消滅—」、明星大学青梅キャンパス第8回公開講座、6.26

島田良二

- A : 1 「陽明文庫蔵三十六人集(十冊本)(10・68)について」、『明星大学研究紀要』(日本文化学部・言語文化学科)第4号、pp.89~102、3.25
- B : 1 講演:「好忠集における歌枕」日本風土文学会春季大会、6.14
- 2 全国大学国語国文学会理事
- C : 1 朝日カルチャ千葉「源氏物語」(20回)
- 2 読売カルチャ柏「源氏物語」(20回)
- 3 東武カルチャ船橋「源氏物語」(10回)
- 2 千葉市民大学講座「枕草子」9.13、9.20

正慶 孝

- A : 1 『21世紀と世界経済のグランド・デザイン』（編著）、講談社、356ps, 4.20.
 2 『経済学ワンダーランド』、八千代出版、218ps, 5.15.
 3 『「楽園回復」の社会経済学』、時潮社、223ps, 5.30.
 4 『『起業家あつての資本主義』と喝破したシュムペーター』、『ニューリーダー』臨時増刊、pp.30~39、11.10.
- C : 1 「この本の読み方」、『月刊テーミス』書評欄年間掲載、テーミス社
 2 「日本の『こころの源流』を読む」、月刊『清流』年間連載、清流出版
 3 『講談社ビジネスフォーラム』全12巻、企画監修、講談社
 4 「高木さんのこと」、『フォーブス』97年2月号、ぎょうせい、pp.186~187、

須藤美奈子

- A : 1 「児童歴史小説の贈りもの——アメリカ・フロンティア時代を中心に——」、児童図書館研究会『こどもの図書館』Vol.43, No.2. pp.10~12(2.25)、No.3. pp.14~16(3.25)、No.3. pp.7~9(5.25)

高柳俊男

- A : 1 『東京のなかの朝鮮—歩いて知る朝鮮と日本の歴史』、監修と「あとがき」、明石書店、8.15
 2 「安岡伸好『遠い海』と都立朝鮮人学校の時代」、『在日朝鮮人史研究』第26号、9.15
- B : 1 「松本富生と『朝鮮』」、鐘声の会月例会、11.10
- C : 1 東京都水元青年の家主催「第3回 フィールド・ワーク朝鮮 in 東京」（三河島周辺）、水先案内人、2.18
 2 「杉並の中のアジア」、杉並区教育委員会「杉並クリエイティブ・スクール」、3.12
 3 「近代の東京と朝鮮—現存する史跡を中心に」、高麗博物館をつくる会講演会、8.24
 4 1995年度東京都社会同和教育研修「在日韓国・朝鮮人と日本」、講演とフィールドワーク案内人、9.10、9.12
 5 「東京に残る近代日朝関係の史跡を訪ねて」、杉並区民大学、9.25
 6 「日本映画の中の在日朝鮮人」、文化センター・アリラン講演会、10.19
 7 「東京のなかの韓国・朝鮮をたずねて」、明星大学蒼星祭、10.20

菱山覚一郎

- A : 1 「民教・民教協の運動と社会科」、『明星大学教育学研究紀要』、第10号、pp.107~114、明星大学教育学研究室、3.20.
 2 「占領下の民間教育運動(2)—『あかるい教育』から『教師の友』への過渡期—」、『戦後教育史研究』第11号、pp.13~24、戦後教育史研究センター、7.15.
 3 共著：『社会科教育の本質を探る—理論と実践の結合—』、明星大学出版部、

339ps, 9.20.

秀村研二

- A : 1 「祈禱院と病因論－韓国キリスト教の病気観」『青丘学術論叢』第8号、韓国文化研究振興財団、pp.178～188、3月
2 「韓国のキリスト教－1945年までを中心に」六反田豊・原尻英樹編『半島と列島のくにくに』新幹社、pp.131～155、9.5
- C : 1 「韓国の文化と社会」東京都立大学都民カレッジ、10月～12月全8回
2 日韓文化交流基金「日韓プラザ・ソウル総会」、3.16
- D : 1 「韓国社会における都市化の過程に関する文化人類学的研究」（平成8年度文部省科学研究費補助金 研究代表：伊藤亜人）による調査・研究、大韓民国ソウル市、高楊市、慶尚北道迎日郡清河面、8.18～9.26

丸山正義

- A : 1 翻訳：アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ「グスタフ・マラー」『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号 pp.132～123、3.25

三木友里

- B : 1 「日中大学交流について」、北京大学陳章良副学長、基金会趙恩普秘書長らとの懇談会、北京大学、9.16
2 「日中密教交流について」、中国青海省白玉寺「中国藏傳佛教」学術討論会、9.18～20
3 「日本の青年の健康状態について」、上海中医薬大学施杞学長、陸徳銘大学院長らとの意見交換会、上海中医薬大学、5.4
- C : 1 「『Noと言える中国』から見た今の中国青年」、勸産業經理協会第71回經濟時事講座、11.21
- D : 1 藏傳佛教史、諸派について：青海省白玉寺において活仏堪志次成洛周上師と共同研究、9.20
2 密教交流史について：北京雍和宮において資料調査、活仏田布仁白音師との懇談、9.22

矢野浩三郎

- A : 1 「英米エンタテインメント文学の文体と翻訳実践例」『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.49～63、3.25
- C : 1 対談：「このミステリーを読んだ！」（新潮社『波』2月号）
2 書評：T. フィンドリー『嘘をつく人びと』（光文社『EQ』7月号）
3 書評：R. ガーディナー & D. V. ダーヴァント『タイタニックは沈められた』（集英社『青春と読書』8月号）

山下善明

- A : 1 「『生命』論への第一章——その2」、『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.65~73、3.25
 2 項目執筆：「R.オイケン」の項、『新カトリック大事典』（第1巻）、研究社、6.28
- B : 1 上智哲学学会誌『哲学論集』第22号編集委員
- C : 1 「田中美知太郎著『人生論風に』の時代」、『部報めいせい』2月号、pp.3~11、1.25
 2 A.バルツィ教授講演「生きることと考えること」の翻訳及び司会、明星大学青梅校舎、5.27
- D : 1 ドイツ語にみる哲学的言語の分析、上智大学アルムブルスター研究室・アドルノ研究会、公開

和田正美

- A : 1 「近代日本文學に表れた家庭像」『明星大學研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第4号、pp.31~47、3.25

万恵洲

- A : 1 『漢語欧化現象剖析』『明星大学研究紀要』（日本文化学部・言語文化学科）第四号、pp.23~33、3.25
- B : 1 『漢語成語的語言与文化闡釈』第五回国際漢語教学討論会発表、8.8~14、北京。

平成8年度：日本文化学部合同研究会（任意参加）が以下の通り開催されました。

- 第1回：主題「表現と伝達」、明星大学研修会館：第五会議室、7.17
 発表者：小堀桂一郎（言語文化）「物語を含む絵画と含まぬ絵画」
 古田島洋介（言語文化）「〈英文訓読〉の功罪」
- 第2回：主題「視覚と文化」、明星大学（青梅）本館4階：小会議室、11.8
 発表者：森 啓（生活芸術）「明治期の文芸書（雑誌）の印刷表現について」
 岡田恒雄（一般教育）「東西演劇におけるリアルな表現の比較」
- 第3回：主題「語る者と語られる者」、明星大学研修会館：第五会議室、12.21
 発表者：佐佐木茂美（言語文化）「吟遊詩人トリスタン」
 山下善明（一般教育）「実践〈英語教育〉批判——現代英語教育の根本問題」